

理事通信 2025 1



つなげよう地域と世界、YMCA と共に
Connecting Local to the World with YMCA

『謹賀新年』

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。今年は日本にとって大きな節目の年となります。奉仕を通じ社会貢献をする我々団体としても、こうした節目を通し、今一度将来への活動の展望や方向性の議論を深めるきっかけになればと思います。

1月1日で能登半島地震から1年を迎えますが、9月の奥能登豪雨も重なり、いまだ先の長い復興途上にあります。被災地を想い、引き続きYMCAと共に我々が出来得る支援の継続をしていきたいと思えます。1月17日は、阪神淡路大震災から30年を迎えます。この震災を契機に、今や多くの市民が支援ボランティアをされる時代となり、新しい地域共同性が形成されたようにも思えます。このような時代にあって、これら活動へのアクセスがより身近にある我々団体が、更に多面的な視点での活動実施をする事で、ユースを含め、より多くの人びとの社会志向性を高めていく事に繋がればと感じます。

そして8月には終戦・被爆から80年を迎えます。今尚戦禍が止まない世界にあって、被爆国として平和創造に向け未来に何を紡いでいくのか？YMCAとも関わりの深い被団協がノーベル平和賞を受賞しました。代表委員の田中照己さんの“核情勢に対し、世界の若者が抵抗し、運動をつくっていく事が必要”との若者へのメッセージ。我々ワイズも世界的友好団体として、ミッションパートナーのYMCAと協働し、未来の平和創造への運動体となりえるのです。ユースが、恒久的な平和をのぞむ真の多様性社会に生きる価値観を形成できるようアシストをしていける基盤を持ち得ていると思えます。

さて、11月をもって前期の各部公式行事も概ね収束しましたが、12月には宝塚クラブ主催のOne Christmasに参加しました。20年つづく地域と共につくられる市民コンサートは、多くの演者の方々や市民が関わり、ワイズらしさが随所に溢れる素晴らしい会でした。また同日夜には、ラオス有志の会の報告・忘年会に参加し、前日ラオスから帰国されたばかりの大野嘉宏ワイズより、いよいよ2025年秋のビエンチャンYMCA国際ホテル専門学校開校に向けた具体的な進捗をお聞きし、胸に熱いものがこみ上げました。地域に、世界にと多面的に影響を及ぼす様々な活動が展開されている事を本当に嬉しく思います。

後期にはいり今期もあと半年となりました。ワイズダム発展へのチャレンジに臨みつつ、6月に神戸で開催の西日本区大会、そして8月に熊本で開催のアジア太平洋地域大会に向け、西日本区一丸となり気運を高めて頂ければと思います。

EF

クラブ内で EF への理解を浸透し、献金機会を増やしましょう。

西日本区 国際・交流事業主任 山田 滋己


”EF”、入会から未だ長く経っておられない方々、とりわけ新入会員の方々には、数あるY’s用語の中、また一つよく分からない、と思われる用語ではないかと想像します。

”Endowment Fund”の略になりますが、そもそもY’s以外で(一般的な)用語の意味を調べると、”(寄付された)基本財産”、”協会の収入となる資本金”等の訳が出てきます。

各事業(例えば、YMCAサービス・ユース(ASF)や地域奉仕(CS))に供されるものではなく、財政的に強いウィズダムを目指す目的で、国際議会(ICM)で決定され、YMI(Y’s Men’s International)の現在と将来の目的のために財政的支援と安定を提供し、特別なプロジェクト、エクステンション、運動の拡大を支援するものです。

これらの主旨から、その機会として、記念(永年表彰、IBC締結など)、追悼(会員のご逝去)、謝礼(卓話者の了解を得て辞退されたものを卓話者名で)等々があげられます。個人、もしくは、クラブのお気持ちによるもので、このお気持ちが結集され活かされる大切なものです。

ぜひEF資金の目的、運用への理解を深めながら献金する事で実感を得て頂く共に、機会を増やして頂けましたら幸いです。



見よ、わたしは使いをあなたの先につかわし、あなたの道を整えさせるであろう。
マルコ 1:2

聖書の小窓「一歩前で乗る」

あけましておめでとうございます。新年も神様の祝福を祈ります。

コロナ禍が落ち着き、海外旅行ができるようになりました。昨年訪れたカリフォルニアのビーチには多くのサーファーがいました。朝夕に大きな波がくるらしく、午前4時くらいからサーフィンをしている人もいました。ビーチには海に突き出た長い橋げたがあり、サーフィンをしている人を上から見ることができました。楽しい光景でした。

そこで発見したことに、波に乗るといっても波の頂上に乗るのではなく、少し前の波がせりあがるところに乗っていました。波の少し前のところに乗るために助走し、タイミングにあわせるために一生懸命に漕いで波の前にでていました。波の少し前が大切なのだと。それを見ながら私たちの活動も成長の頂上にいるのではなく、その一歩前にいなければさらに成長することはできないかもしれないと考えていました。

新しい年がやって来ました。今年もたくさんの行事が予定されています。神が先においてその道を整えてくださっています。一歩前に先をいかれるそのすぐ後を歩んでまいります。ワイズメンのさらなる成長を祈ります。

次年度における次々期理事候補者の推薦について

ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区 各クラブ会長 殿

告示日：2024年12月23日
西日本区理事 鵜丹谷 剛
次々期理事候補者等指名委員会
委員長 深谷 聡

次年度における次々期理事候補者の推薦について

平素よりワイズ運動へのご奉仕に心より感謝申し上げます。

さて、このほど西日本区定款第8条にしたがって次年度における次々期理事候補者等指名委員会
が構成され、次年度における次々期理事（2027～2028年度理事）候補者について立候補を募る
こととなりました。

指名委員会は、標題の件に関しましてここに告示いたします。

クラブで立候補される方がおられる場合は、次の要領にしたがって立候補届出の手続きを進めて
頂きますようご案内申し上げます。

記

1. 望まれる立候補者の資格

原則として西日本区役員（分割前の日本区を含む）の経験がある方。

2. 届出の方法

「立候補届出書」・「会長の推薦状（書式自由）」をご提出下さい。

（記載内容）① 氏名 ② 生年月日 ③ 住所 ④ クラブ名 ⑤ 写真
⑥ 入会年月日 ⑦ ワイズ活動での経歴 ⑧ その他

（届出先及び期限）

届出先 指名委員会委員長 深谷 聡（名古屋クラブ）

〒466-0064

名古屋市昭和区鶴舞3-2-8

期 限 2025年3月22日（土）までに必着のこと

* 提出期限は上記の通りですが、事務手続き上3月8日（土）までに御提出
下さいます様、お願い申し上げます。郵送とあわせて、e-mailにて御連絡
頂きますと助かります。

E-mail：s_fukaya@tokai-yogyo.jp

3. 写し（コピー）を指名委員である所属部部长へご提出ください。

4. なお、立候補無き場合は、西日本区定款第8条第5項及び、『次々期理事等指名
委員会内規』に基づき、委員会において指名を行うことと致します。

* ご不明な点は、委員長 深谷聡（携帯 090-3255-8862）までご連絡ください。

ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区「次年度における次々期理事」立候補届

提出日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

次年度における次々期理事候補者（理事年度2027年～2028年）として立候補いたします。

署名 _____

候補者	かな 氏名	部	クラブ
	ワイズに於ける現役職		
生年月日	年 月 日	入会年月日	年 月 日
現住所 〒	—	電話	— —
		FAX	— —
e-mail		携帯	— —
職業・業種			
西暦年	月	ワイズ経歴（入会・役職・委員等）	
西暦年	月	YMCA経歴	
メネット 氏名（フリガナ）			

立候補理由・所信 等（所属教会など）

* 会長の推薦状を別紙にて添付してください。（書式自由）



西日本区直前理事

深谷 聡

新年を迎えるに当たり、限りなく美しい私たちの地球が、希望に満ちた光に包まれ、人類が平和になる事を祈ります。

2024年悲慘な戦争、凶悪犯罪、自然災害のニュースに深い悲しみを感じます。『隣人に寄り添う』というワイズメンに宿る精神こそ、今世界に最も必要とされるものと確信します。

私達ワイズメン1人の力は決して大きな力でなくとも、クラブ、部、区、世界のメンバーとの結束で、大きな希望の明かりで平和を発信して参りましょう。

2025年8月アジア太平洋地域大会、AYCが熊本で開催されます。皆の力を結集させ、ホストとして世界からの仲間を迎え入れましょう。きっと喜びと感動があるでしょう。

同年ラオス人民民主共和国にワイズメンズクラブが中心となりYMCAホテル専門学校がいよいよ開講します。これまでのご努力に感謝申し上げますと共に、これから始まる新しいプロジェクトを継続できるよう一致団結をし、ラオスの皆様方と真の交流を継続して参りましょう。

世界のワイズメンの仲間と新しい友情を育み、混沌とした世界が平安になることを願います。

新春の侯、皆さまにはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。『寄り添う。忘れない。』が小生のテーマです。巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年と言われています。次の世代を担う若者たちにもより良い未来になります様に挑戦して参りましょう。ご一緒に素敵な一年に致しましょう。



西日本区次期理事

中井 信一



西日本区書記

今西 宏樹

ワイズメンズクラブ西日本区の皆様、新年あけましておめでとうございます。半期が過ぎ、役職につかれてる方は少し落ち着いてきている方も多いのではないのでしょうか。しかしあと半期ありますので、気を抜くことなく共に走り抜けましょう！そして最後は西日本区大会です。多くの方に来ていただき盛大に行いたいと思いますので6月14日(土)は他の予定を入れずに必ずご参加ください。どうぞよろしくお願いいたします。



西日本区 会計

的場 幸生

皆様、あけましておめでとうございます。昨年はいろいろとお世話になりありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いたします。鶺鴒谷期も半分が過ぎて折り返しに入ってきました。前半戦では、あまり目立つ活躍が出来なかったため、後半戦は何か爪痕を残せるように頑張っていきますので、どうか温かく見守ってやってください。

新年あけましておめでとうございます。
自然災害や紛争が続く中、ワイズとYMCAにつながるユースの活動は再び明るく活発になりました。新しい年はYMCAに求められる働きをYYYで考える年となることを期待します。
ユース世代が生涯にわたる自身への学びの場、宝を積み上げる場となり、提案することが事業主題の“Through The Past, Darkly”の実現に繋がります。2025年は明るい未来に向けての第一歩の年となりますように祈ります。



西日本区 Yサ・ユース事業主任

上杉 徹



西日本区 地域奉仕・環境事業主任

鳥居 翠

あけましておめでとうございます。
早いもので鶺鴒谷期の折り返しです。
さて、金運アップの守り神の『巳さん』ですが、ここ10年で数が激減しているそうです。
爬虫類のなかの生態系の上位にいる蛇さんですが、気候変動、生息地域の減少などで減っているそうです。
私たちの生活が快適に続けていけますように、色々なことに関心を向けていきたいと思えます。
こんなに考え方が変わっていくなんて、と、地域奉仕・環境事業主任にと言ってくださった理事とお支え頂いている皆様に感謝を込めて新年のご挨拶とさせていただきます。



西日本区 EMC 事業主任

清水 真一

新年あけましておめでとうございます。令和七年を迎え、いよいよ鵜丹谷理事期も残り半分となりました。今期は、新入会員拡大目標数を 150 名としてます。半期が終わり 75 名の目標数に対して、実際の入会者数は 10 名ちょっと足りていません。多くの入会者を迎えた部があれば、そうでない部もあります。持続的なワイズ活動のため、残り半期引き続き積極的な仲間を増やす活動をお願い致します。



西日本区 国際・交流事業主任

山田 滋己

新年を迎え、皆様それぞれ近しい方々と一緒に過ごされたことと存じます。
上半期は沢山の”プラス1交流”に取り組んで下さり感謝申し上げます。
下半期も各クラブ、部でさらなる活発な国際・交流活動を実施願えればと思います。西日本区でもツーリング交流、区大会、地域大会へ向けて進んでいきます。区全体で一体となって次期へ繋がる事業を推進して参りましょう。

中部部長

服部庄三



今年度も半年が済み、あれよ、あれよと過ぎていく中、中部の各クラブではそれぞれの特徴を活かした活動を行ってきました。中部の特徴である YMCA とリーダーとの様々な交流、リーダー OB との繋がりを取り戻す催し、また能登地震関連の支援など様々な活動を行ってまいりました。後期も部長としてやり残している課題を一つ一つこなしていきたいと思えます。ご支援をよろしくお願いいたします。

びわこ部内のワイズの皆様、西日本区内のワイズの皆様、新年明けましておめでとうございます。
そして世界のワイズの皆様 A Happy New Year!
元日の朝、昇る初日の出に家族と妻と、また仲間と、今年の平穏無事を願い、世界の平和などを祈られたことと存じます。昨年は大変な新年の始まりでしたが、しかしワイズメンの奉仕の輝きが天に届き、必ず善き年になることでしょう。
本年もご教導の程、よろしくお願い申し上げます。

感謝 合掌

びわこ部部長

岡村遍導



京都部部長

山下大輔



新年明けましておめでとうございます！
昨年の上半期では、京都部会初めワイズデーを開催させて頂き皆様にはご協力頂きこの場をお借りして感謝申し上げます。
また、京都部としましてはメンバー数 600 名を目指して京都部一丸となって目標にめがけて頑張っています！
本年も宜しくお願いします！

阪和部部長
寺岡博也



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。前期では、阪和部会などにご参加いただきありがとうございました。また、半期で14名の入会者がありました。これも皆様のご協力のおかげです。後期に向かって阪和部の為、より充実したものになるように頑張ります。

中西部部長
湯浅禎也



新年あけましておめでとうございます。2025年になり今期も半分が過ぎました。

6月まで残り半期ですが中西部では部の行事がまだまだ残っています、阪和部との新年会、ラオスにYMCAをの支援上映会、ワイワイフォーラム、うなぎの森等、頑張ってまいりますので皆様ご協力よろしくお願いします。

ワイズメンズクラブ西日本区の皆様
新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願
いいたします。各部会には全て参加をしてきましたが、丁度秋
の台風の時期に遭遇し、開催が危ぶまれた部会もありました。
特に8月31日先陣を切った「西中国部部会」は中止を余儀な
くされ延期になり、11月2日開催の我が「六甲部部会」は前
日からの台風21号の影響で、新大阪以西の新幹線がストップ
する中、駆け付けて下さった方もおられ何とか開催出来まして
感謝をいたします。アクシデントは付き物です。残りの後半、
どうか**健康第一**にワイズ本来の奉仕と交流に飽くなき追究をし
てまいりましょう。

六甲部部長

小野勅紘



瀬戸山陰部部長

長壽和子



新年 明けましておめでとうございます。
本年もみなさまとともに新しい年を迎えることが出来たこと
を心から感謝いたします。
昨年は、人生初の入院生活を体験し、健康のありがたさ、人
の優しさを改めて感じた年でした。今年は、健康に留意し、
ワイズ活動を楽しみ、「長寿」を目指したいと思います。
本年が、みなさまにとってワイズメンズクラブにとってより
佳き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

西中国部部長

坂田王將



新年あけましておめでとうございます。

令和7年の本年は、昭和100年、被爆80年、また広島カープの初優勝から50年、そして60歳の還暦を迎える節目の年にあたり、蛇年生まれのためには「脱皮」のごとく新たな道に挑戦したいと思っています。

「迷わず行けよ、行けばわかるさ」という猪木師匠の言葉を胸に、ワイズの闘魂を燃やして、皆様と共に地域に貢献する活動に邁進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

九州部部長

大崎隆義



あけましておめでとうございます。

昨年は、大変お世話になりました。西日本区の各部の活動に刺激を受けました。

各部会や例会へ参加すると、ワイズライフが楽しくなって、自分への投資となり必ず役に立つと思いました。

九州部でも若いワイズメンの入会があり各クラブが今後も長い歴史を築いていくものと思います。ワイズの絆で仕事や遊びに活かしていくことでしょう。

健康に留意し、心と体のバランスを維持して、素敵な出会いでワイズライフをたのしみましょう。

本年もよろしくお願い申し上げます。

メネット 委員会 報告

～びわこ部メネット活動のご紹介です～

2022-2023 西日本区大会（岡山）のメネットアワーの際に、広島クラブが近隣の施設などへクリスマスリースを贈呈されていることを聞かれた滋賀蒲生野クラブの三原会長が、今期クラブのメネット会の奉仕活動として参加の申し出をされたことで、奉仕を通して素敵な交流がうまれました。

三原会長は、びわこ部のメネットの皆さんにも働きかけられて、有志10名が集まってクリスマスリース10個を仕上げられ、広島クラブに贈呈されました。また、参加されたクラブにも持ち帰り地域の施設に贈られたということで、この活動がクラブのCS事業に連動し広がりもあったという点で注目できます。



『今年は、びわこ部メネット有志の方々が制作された直径約40cmのクリスマスリースが11月25日（火）に10個広島クラブに届きました。びわこ部蒲生野クラブの三原会長のお世話で、栽培された綿花はじめリース枠他、自然素材で飾り付けられた気品漂う愛おしいリースの数々でした。広島クラブメネットと共に一同感嘆しました。』（広島クラブ12月号ブリテンより）
素晴らしい本格的なクリスマスリースに想いが込められ、活動に参加された皆様の笑顔が広島クラブに届けられたことが、広島クラブの報告からも伺えました。

他にも、各部や各クラブにおいて、メネット活動及びメネット例会が行われていることと思います。お知らせいただければありがたいです。西日本区大会のメネットアワーでも共有できますよう、改めて情報提供のお願いをさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



メネット委員会代表

大野智恵

～メネットもワイズライフを楽しみましょう！～



第 31 回アジア太平洋地域大会 2025



いざ！熊本！！

No.2



AC2025 実行委員長
田上 正(熊本むさしクラブ)

いよいよ 2025 年のスタートです。8 月 1 日～3 日アジア太平洋地域大会および、7 月 30 日から開催される AYC (アジアユースコンボケーション) の成功を目指し、各担当委員長を中心に、東西日本区と YMCA が協働しさらに準備を進めています。大会参加者数は国内外から 700 名を見込んでおり、この数こそが経費面では最低遂行人員です。登録費のみで賄うには、非常に困難も予想されますので、皆様には恐縮ですが引き続き広告や寄付をお願いしているところです。どうかご理解いただき多大なるご協力をお願いします。大会テーマは For Greater Joy！ 参加するワイズメン、メネット、YMCA 関係者、ユース、そして多くのボランティアの人々が、素晴らしい経験を楽しめるよう、大会当日まで邁進しましょう。

今回は実行委員会の各担当委員長をご紹介します



アジア太平洋地域大会の熊本開催が決定してから 1 年 4 か月。そして開催まで 200 日を切りそうになってきて、毎晩夢に出てくるほど、ワクワクなのかドキドキなのか？うなされているのか？目覚めはあまり良くない今日この頃。最後まで走り抜けると、何か違う景色が見えるのかな～。ぜひ皆さんのお力をお貸しください。

事務局長 前田香代子 (熊本ジェーンズ)



みなさん、こんにちは。AC2025 熊本開催の地元メンバーということで総務委員長を仰せつかっている森博之と申します。開催会場をはじめ運営全般で準備や調整などに関わって、ご満足いただけるよう努めますので、よろしくお祈りします。

総務委員長 森 博之 (熊本ジェーンズ)



何かを成功に導くために必要なものは『ひと・もの・金』とよく言われます。今大会では、『国内外から参加の多くのワイズメン・充実したプログラム内容・ご寄付と広告掲載でいただく浄財』かと、ご寄付と広告掲載へご協力くださいますようお願い申し上げます。

広報・PR 委員長 上村真智子 (熊本ジェーンズ)



とてもハードルの高いお役目ですが ご参加いただいた方々に楽しかった。有意義だったとおっしゃっていただけるよう、皆様と智恵を絞り出して より良いプログラムを組み立てていければと・・・ご指導よろしくお祈りします。

プログラム委員長 若杉 衣子 (熊本むさし)



WEBサイトを担当している熊本水前寺クラブの伊藤です。現在、皆さまのご意見を伺いながら誰にでも、見やすく使いやすい、そんな申込サイトを目指しております。随時、更新情報を配信していく予定ですので、サイトへアクセスしていただきメルマガへの登録をお願いいたし

WEB 委員長 伊藤 七海 (熊本水前寺)



京都、仙台でもマーシャル委員をさせてもらいアジア地域大会を楽しみました。アジア太平洋地域大会が熊本で開催される喜びから参加される人たちをもてなしたい気持ちでワクワクが止まりません。マーシャル委員でアジア大会を盛り上げましょう。

マーシャル委員長 中西 賢一 (熊本にし)



バンケット委員長の熊本水前寺クラブ 中川由美です。ご参加いただいたみなさまにとって「胃も心も幸せいっぱい”になっていただけるようなおもてなしをご用意できるよう精いっぱい頑張っております。

バンケット委員長 中川 由美 (熊本水前寺)



『AC2025 in 熊本の大会』に向けてYMIワールド翻訳編集委員会（東西日本区翻訳通訳グループ）は、海外からのゲストが多く参加するイベントでは、多くの事を期待されます。同時通訳をはじめ、司会原稿の英訳、英文ニュースレターの発行等々、すべては無理でもできる限り 期待に応えるつもりです。

翻訳・国際委員長 田尻 忠邦 (大阪)



大会会場のサクラマチクマモト熊本城ホールを担当します。ホール担当者とは、田上実行委員長の区理事期西日本大会後もイベント参加を通じて良好な関係を築いています。プログラム委員会など関係委員会と連携し、素晴らしい大会になるよう注力していきます。

会場・演出委員長 守田 富男 (八代)



AYCの参加者の皆様には、熊本が「火の国」「水の国」「杜の都」であることを、お伝えしたいと考えています。アジアのユースの皆さん。いざ、熊本・阿蘇へ！

AYC 委員長 光永 尚生 (熊本 / 熊本 YMCA)

AC KUMAMOTO

日本語

Search...

ホーム

開催場所のご案内

広告協賛募集中

マーシャルスタッフ募集

お知らせ

For greater joy!

The 31st ASP Area Convention

<WEBサイト内容>

随時更新中

「西日本区WEBサイト」

トップ画面よりワン・クリックです

2025年8月1日～3日

in 熊本城ホール

会場案内

<登録費・エクスカーション込>

¥45,000 (早期割引はございません)



2025年1月1日より

大会開催まで残り

PV第2弾公開中！！

211 : 12 : 00 : 00

日 時間 分 秒

登録開始は2025年2月1日予定！いよいよあと30日です

広告協賛募集中

マーシャルスタッフ募集中

第31回アジア太平洋地域大会(AC2025) に向けての裏話 1月

その6



AC2025 実行委員長
田上 正(熊本むさしクラブ)

2月に開催されるRDEサミットには、次期理事および次期地域会長も出席し学びと意見交換をする。当然自分も出席し大いにAC2025への参加を呼びかける。2月10日には現地(インドのケララ州、コバラムにあるホテル)に着かねばならない。さて出発は14日の夜になるが、ふとあることに気づいた。2月16日の熊本城マラソンの受付は15日の午後8時までで顔認証である。間に合わないではないか!男のロマンは男の我慢になるのか?

新入会

あたらしい
仲間を紹介します。

京都部

入会日：2024/11/1
京都ウエスト
河村 諒

入会日：2024/11/1
京都ブラック
島田 譲

入会日：2024/11/19
京都エイブル
大矢 伸之介

入会日：2024/11/1
京都ブラック
北村 貴正

入会日：2024/11/21
京都ウイング
濱口 直樹

びわこ部

入会日：2024/12/11
高島
石田 容子

中部

入会日：2024/12/25
金沢
北村 心宙



YMCA 同盟通信

西日本区担当主事 有田征彦

■ 能登半島に想いを寄せて

2024年1月1日16:10、能登半島を震源にマグニチュード7.6、最大震度7を記録した能登半島地震では(11月26日現在)死者462名(内、災害関連死235名)、行方不明者3名、住宅被害139,690棟にも及び大規模災害となっている(内閣府発表)。また、9月21日に発生した奥能登豪雨災害では死者13名、負傷者47名となっており、住宅被害などを含めた被害の全容はまだ明らかとなっていない(石川県発表)

1月1日、能登半島地震が発生して1年となります。この1年、YMCAではワイズメンズクラブの皆様のお借りして支援活動を展開してきました。金沢市の1.5次避難所では3ヶ月間に渡り運営アドバイザーとして石川県の職員を支え各支援団体の調整、避難所の組織化や情報管理を行い全国YMCAから34名のスタッフを派遣しました。輪島市町野町では6ヶ月間に渡り避難所運営サポートを行い、90名のスタッフ・リーダー・ワイズメンが派遣されました。6月末には多くの避難者が仮設住宅へ転居され、その役割を終えました。また、夏には輪島市の児童を無料招待してリフレッシュキャンプを行いました。近隣の富山YMCA、滋賀YMCAが中心となり全国YMCAからユースリーダーを派遣し、子どもたちの笑顔があふれるキャンプとなりました。そのような中で9月に豪雨災害が能登半島を襲いYMCAが支援を続けてきた町野町でも甚大な被害が発生、まさかの二重災害は悲惨な街並みに加え現地の皆様の復興への心をも打ち砕いていました。YMCAでは直ぐにボランティア派遣を開始し11月末までに延べ250名を派遣。スタッフ・リーダー・専門学校学生に加えワイズメンのみなさんにも参画頂きました。このような活動は全て皆様が街頭にたち呼びかけていただいた募金によって行われています。

YMCAは決して専門的な災害支援団体ではありません。しかし大きな災害があれば、被災地に想いを寄せ、できることを懸命に行ってきた歴史があります。派遣されるスタッフ、リーダーたちの表情、姿勢、行動は聖書に示された『善きサマリア人』そのもので、何度も心を打たれました。これは災害に限らず、苦しみや悲しみの中にある人のために。というYMCAに受け継がれるDNAのようなものだと感じています。それはワイズメンズクラブでも同じことがいえるのでしょう。阪神淡路大震災、東日本大震災、西日本豪雨災害、熊本地震などでできることを懸命に行ってきた経験は今回の能登半島への支援に繋がっています。

同じ災害は二つとありません。能登半島の地形や環境もあり復興への道のりは長期化が必須です。YMCAでは今後もワイズメンズクラブのみなさんと共に出来ることを懸命に行っていきます。



水害ボランティア(町野)



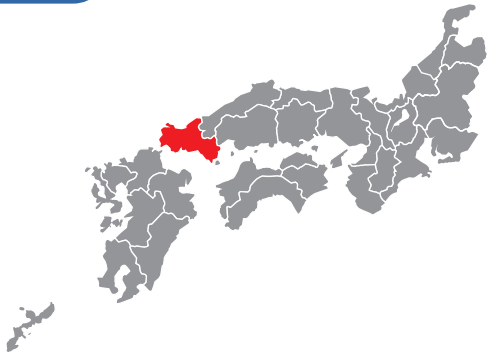
リフレッシュキャンプ



避難所支援(町野)



2024 ~ 2025 年度 各部部会の開催日程です。



西中国部

2025年3月22日 (土)

会場：岩国市 詳細は後日ご報告いたします。

ホスト：岩国みなみ



阪和部・中西部合同例会 案内

ワイズメンズクラブ国際協会
阪和部・中西部合同新年会





ゲスト講師 **権田 康徳 氏**
元阪神タイガーストレーナー
Double Rainbow ASHIYA for Training & Care 代表

アラバマ大学アスレチックトレーニング学部を卒業後、NATA公認アスレティックトレーナー資格ATCを取得。その後、アリゾナ州立大学大学院修士課程へ進学し、修士課程修了後、アメリカで多数のメジャーリーグのリハビリやコンディショニングなどに携わり経験を積む。2007年から2021年まで15年に渡り、阪神タイガースのトレーナーを務める。

ゲスト演奏 **大黒 恵子 氏**
日本民謡・三弦 鈴乃恵会会主
津軽三味線内田流師範



大阪市在住、小学5年生より民謡を習い始める。津軽三味線、民謡、鳴物をこなすオールラウンダー。下津井節、尾鷲節、淡海節など数々の民謡全国大会にて優勝。平成27年、産経新聞社主催 第50回産経民謡大賞にて内閣総理大臣賞を受賞。現在は関西を中心にラジオ出演や海外での演奏など全国の舞台で活躍することにも、後進の育成にも力を入れている。

2025年1月13日(祝月) AM11:30~14:30
ANAクラウンプラザホテル大阪 13000円
大阪府大阪市北区堂島浜1-3-1

第28回 西日本区大会



ワイズメンズクラブ国際協会
第28回
西日本区大会

Challenge for Change
BE Y's IN KOBE



2025
6.14 sat.

SMILE. IMPACT. CONNECT.

■ 会場 ANA クラウンプラザホテル神戸

ホストクラブ： 神戸クラブ・西宮クラブ・神戸西クラブ・神戸ポートクラブ・宝塚クラブ・神戸学園都市クラブ・芦屋クラブ



ワイズメンズクラブ国際協会
第28回西日本区大会

実行委員会便り vol.1

実行委員会では、①登録委員会 ②会場委員会
③プログラム委員会 ④広報委員会 に分かれ、
それぞれが責任をもって各分野での準備を進めています。

2025年6月14日開催の第28回西日本区大会に向けて、開催の1年半前より実行委員会を立ち上げ、毎月熱い議論を繰り広げています。

単日開催

今回の西日本区大会は単日開催ということもあり、タイトなスケジュールにおいても皆様の心に残る大会にするべくアイデアを振り絞っています。

ANA クラウンプラザホテル神戸

会場は ANA クラウンプラザホテル神戸。新神戸駅の目の前、「ケンケンでも行ける」「雨でも傘いらず」きわめて便利な場所にあります。是非とも多くのメンバーが参加して楽しく有意義な交流の場にしたいものです。

大会前日

また、大会前日は屈指の名門ゴルフコースである芦屋カンツリー倶楽部でのコンペも企画しています。腕に自慢のある方は奮って参加してください。

アトラクション

当日はバラエティーに富んだゲストをお招きしています。開会プログラムに先立ってのハンドベル演奏は宝塚を基点に活躍しているポップンリンガーズ。ディナーパーティーでのアトラクションには兵庫県立高砂高校ジャズバンドの演奏とウクライナ人バレエダンサーによるバレエを楽しんでいただきます。国際都市神戸ならではのアトラクションをお楽しみください。

前夜祭

神戸ポートピアホテル「スカイグリルブッフェ GOCOCU ～五国のめぐみ～」が会場です。ホテル最上階からのみなと神戸の絶景とともに、兵庫五国（摂津、播磨、但馬、丹波、淡路）の特産物を中心とした選りすぐりの食材を使用した料理を楽しんでください。

この大会が鶴丹谷理事の活躍の集大成として成功に導かれるよう、
我々実行委員会のメンバーは全力を尽くしますので何卒よろしく願いいたします。

第28回西日本区大会実行委員長 美崎 晋



Challenge for Change

BE Y's IN KOBE





ワイズメンズクラブ 第28回西日本区大会

メネットアワーのご案内

演題 「住まいは人権」

～ハウジングファーストから始まる女性の回復支援～



2025年6月14日（土）10：00～11：30

ANAクラウンプラザホテル神戸 ジャスミンの間
登録料2,000円（お弁当代含む）

講師紹介

正井 禮子（まさい れいこ）氏

認定NPO法人「女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ」（代表理事）



女性や子どもの支援活動を行っている社会起業家・活動家。

神戸大学卒業後、日本航空勤務を経て、1992年女性の人権を守り、男女平等社会の実現を目標に、団体「ウィメンズネット・こうべ」を設立。

1995年1月阪神淡路大震災では被災者支援活動を行い、同年3月「女性のための電話相談」を始め「災害と女性」のHPで情報発信を続ける。

2007年3月20日に、認定NPO法人「女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ」と認定される

2011年の東日本震災では「東日本大震災女性支援ネットワーク」を立ち上げ、活動の幅を広げる。

2018年度 「Champion of Change Japan Award」受賞

2024年2月 関西財界セミナー賞2024「輝く女性賞」受賞

2024年5月 「第78回神戸新聞平和賞」受賞

2024年6月 「六甲ウィメンズハウス」オープン

メネット活動の共有と親睦・交流も計画しています

西日本区メネット委員会代表 大野智恵（神戸ポートクラブ）

1-1 西日本区事務所年始開所のお知らせ

西日本区事務所は1月8日(水)から再開いたします。その間、緊急事項等
お急ぎの用件がございましたら、西日本区書記までご連絡ください。

西日本区書記 今西 宏樹(京都トップス) E-mail アドレス: imanishi@idumi.com 携帯電話: 080-2435-1445

1-2 次期における次々期理事推薦告示

次期における次々期理事の推薦に関する告知を、12月23日付けメールにて
各クラブ会長宛てへメール発信、並びに当月理事通信にも掲載しておりますので、
各クラブ会長におかれましてはご確認をお願いいたします。

1-3 国際選挙に関する件

日本時間 12月14日午前1時から今年度の国際選挙の投票受付が開始されています。
選挙権のあるクラブのクラブ会長または事前に登録済みの代理投票者には、投票システムを運営する
Simply Voting 社から届く「2024/25年度国際選挙」というタイトルの日本語メールの内容指示に従い、
期日(日本時間1月28日午前1時)までに投票をしてください。

1-4 第31回アジア太平洋地域大会のホームページ開設お知らせ

2025年8月熊本にて開催の第31回アジア太平洋地域大会のホームページが開始され、
西日本区ホームページにリンクが設定されましたので、是非ご覧ください。内容は随時更新されます。
<https://www.asp-kumamoto.com>

1-5 長崎クラブの解散について

各種諸規則内のクラブを解散する場合の手引きに基づき、2024年12月31日をもって
「長崎クラブ」の解散が、12月26日開催の常任役員会での同意を得て承認されました。

1-6 クラブブリテン、部報の国際協会への共有依頼について

国際本部より、クラブブリテン・部報を国際協会へも共有いただきたいとの依頼がありました。
以下、国際ホームページのフォームから提出が可能です。<https://www.ysmen.org/bulletin-submission/>
但し、英語版での提出となります。是非、自クラブ等での翻訳試みを推奨いたしますが、
困難ながらご興味があるクラブ・部は、西日本区書記 今西宏樹までお問い合わせください

理事通信 2025 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

早いもので、鶴丹谷期が始まってから半年が経過しました。

上半期では、西日本区役員会の第一回、第二回が無事終了し、各部の部会も、台風で延期
となった西中国部を残し、無事完了しております。下半期も合同新年会や、周年例会など
が各地で行われます。

新年1月号では、西日本区役員の皆様の新年あいさつを掲載しております。新年を迎え、
気持ちを新たに下半期も取り組んでいきましょう。

西日本区理事事務局 事務局長

今西 ▶ imanishi@idumi-s.com 馬場 ▶ aki_banba@e-shoei.com 馬場 昭宏

